

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
0 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境					0.40			4.0
1 音環境				5.0	1.00	4.0	1.00	4.1
1.1 騒音				5.0	0.50	4.0	0.50	
1.1.1 室内騒音レベル		共用部:34.7dB、住居部:34.7dB		5.0	1.00	5.0	0.50	
1.1.2 設備騒音対策				-	-	3.0	0.50	
1.2 遮音				5.0	0.50	4.1	0.50	
1.2.1 開口部遮音性能		サッシュ遮音性能:T-2		5.0	1.00	5.0	0.30	
1.2.2 界壁遮音性能		界壁遮音性能計算書より Dr=50		-	-	4.0	0.30	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		置床:Lr=45		-	-	4.0	0.20	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				-	-	-	-	
2 温熱環境				1.6	0.35	5.0	1.00	4.4
2.1 室温制御				2.2	0.50	5.0	1.00	
2.1.1 室温				3.0	0.63	-	-	
2.1.2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
2.1.3 外皮性能		住居部:省エネ対策等級4		1.0	0.38	5.0	1.00	
2.1.4 ゾーン別制御性				-	-	-	-	
2.1.5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
2.1.6 個別制御				-	-	-	-	
2.1.7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
2.1.8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				2.5	0.25	4.0	1.00	3.7
3.1 昼光利用				3.6	0.30	4.0	0.50	
3.1.1 昼光率		<共>昼光率=2.4、<住>昼光率=9.6		4.0	0.60	5.0	0.50	
3.1.2 方位別開口				-	-	3.0	0.30	
3.1.3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				1.0	0.30	4.0	0.50	
3.2.1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
3.2.2 昼光制御		住居部:カーテン+庇によりグレアを制御		1.0	1.00	4.0	1.00	
3.2.3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-	
4 空気環境				3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63	
4.1.1 化学汚染物質		全面的にF を採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.1.2 アスベスト対策				-	-	-	-	
4.1.3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	
4.1.4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.0	0.40	3.0	0.38	
4.2.1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.2 自然換気性能				-	-	3.0	0.33	
4.2.3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4.2.4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視				-	-	-	-	
4.3.2 喫煙の制御				-	-	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4
1 機能性				3.0	0.40	4.2	1.00	4.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1.1.1 広さ・収納性				-	-	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応		住居部:各住戸にGbitクラスのプロードバンドが利用可能		-	-	5.0	1.00	
1.1.3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40	
1.2.1 広さ感・景観				-	-	3.0	0.50	
1.2.2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
1.2.3 内装計画				3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
1.3.3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.3	0.31	-	-	3.3
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
2.1.1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.33	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数		品確法劣化対策等級3		5.0	0.23	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		コンクリートの上、磁器質タイル:40年		5.0	0.23	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.09	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種類以上(給水、汚水排水、雑排水)にB以上を使用し、Eは不使用。		5.0	0.15	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		3.4	0.19	-	-	
	2 給排水・衛生設備	節水型器具 + 系統の細分化	3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備		4.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備	通信の多様化 + 浸水の危険性なし	3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備		4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		-	-	2.6	0.50	
	2 空間の形状・自由さ		-	-	3.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり			-	-	2.0	0.40	
3.3 設備の更新性			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性		3.0	1.00	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率: 44.61%、水平投影面積率: 34.83%、緑被率他: 37.27%、舗装面積率: 27.43%		4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.9
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制	品確法省エネルギー対策等級: 等級4		5.0	0.40	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	LED照明の採用、高効率照明器具の採用		5.0	0.40	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		#VALUE!	5.0		-	-	
集合住宅の評価			5.0		-	-	
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水コマ + 省水型機器		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.63	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン(路盤材)		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体 + 軽鉄 + 仕上げ材、内装材と設備が錯綜せず		5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.22	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	採用発泡断熱材はノンフロン		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率 = 71%		4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善	アメダスデータによる風環境の把握、隣棟間隔指標: 0.84、地表面対策面積率: 70.29%、屋根面対策面積率: 6.23%		4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切量の駐輪・駐車場、荷捌きスペースの確保		4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	